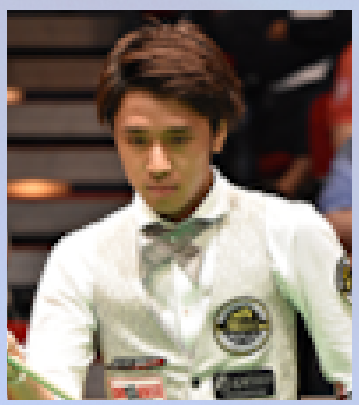
土方隼斗プロからのメッセージ



～自己紹介（ごあいさつ）～

ビリヤードプロプレイヤーの土方隼斗です。
世界ジュニア大会に2度参加して日本人初の決勝に進出した経験があります。
16歳でプロテストに合格して今も現役で世界大会優勝を目指してプロ活動をしています。

～全日本ジュニアナインボール選手権大会から世界へ、代表派遣で得たもの～

初めての世界選手権代表の試合はかなり緊張したのを覚えています。
世界ジュニア大会は２回参加していますが、１回目はベスト5位タイ、２回目は日本人初の準優勝になりました。
当時はベスト8で負けたジュニアの選手がジュニアでない世界選手権でその年に優勝するなど、とてもジュニアのレベルが高かったです。世界ジュニア大会で間近で戦った同世代の選手が世界選手権を優勝したりして海外のプロの大会でも活躍する姿を見たことはとても刺激になりました。
自分も海外で活躍するプロになることが目標でしたが、まずは日本のトッププロを目指すうえでも、海外のジュニア選手が世界の大会で活躍しているのだから、自分が日本でプロになっても通用するのだという自信をもらえました。
日本代表で世界ジュニア大会に参加してどのような結果であっても、世界で活躍するため周りにどんな世界ジュニア選手がいるのか間近で見てくることはとても大事な経験になると思います。そして今でも、世界ジュニアで共に戦った選手が世界で活躍していると刺激をもらえ、自分も頑張ろうという気持ちになります。

～同じ道を志すジュニア世代に～

まずは日本で1番強いジュニアを目指して世界ジュニアでどれくらい通用するのか経験してきてほしいです。また、日本のプロのレベルは世界的にも高い方だと思うので、国内のプロの試合などにも積極的に参加し、プロのプレーを目の前で見る事もとても大事だと思います。
ジュニアの頃は学業だったりやりたい事が多かったりビリヤードの練習がなかなかできない時もあるかもしれませんが、続けることがなによりも大事です。わからない事があれば周りの上手い方やプロにアドバイスをもらい、ビリヤードを楽しみながら頑張って下さい。

～今後の自身の抱負は～

まだ世界大会では優勝していないので、世界大会での優勝を目指します。
日本のジュニアの子に憧れてもらえるようなプロ選手になれるよう頑張ります。
そして、ジュニアの子がビリヤードのプロを目指しやすくなるような環境作りにも今後は力を入れていきたいです。

土方 隼斗

飯間智也プロからのメッセージ

★自己紹介(ごあいさつ)

皆様こんにちは!
JPBA(日本プロポケットビリヤード連盟)の飯間智也です。
私の出身は香川県で、ジュニア時代は四国代表として第 1 回大会より参加させていただき、長年に渡り、この大会にお世話になりました。

★全日本ジュニアナインボール選手権大会から世界へ、代表派遣で得たもの

当時の記憶としては、第 1 回大会が開催された年末に急遽、ジュニア世界選手権が尼崎のアルカイックホールで開催されることとなり、日本代表権をいただいたこと、そこで初めて海外選手と対戦したことが、一番の衝撃でした。「JOC ジュニアオリンピックカップで優勝すれば、またこの人たちとビリヤードが出来る」という思いが、日々ビリヤードに取り組む励みとなりました。
さらに当大会が回を重ねる毎に、同世代のプレイヤーとの交流も深まりました。実際、大会終了後も会場に居残って、知識や技術を共有しあったり、時には真剣勝負をしたりして…。
そして帰り際にまた来年会おう!!と言って帰る。大会期間中の数日間を皆と共有する時間がとても有意義で次の大会が来るまで一年毎の日々のモチベーションでした。
余談ではありますが、勉強になった点として、当時中学生の頃から一人で上京していましたので、初めて飛行機に乗ったりホテルに泊まったりと、一人で何処にでも行けるようになり、ビリヤード以外でも色んな人生経験をさせていただきました。
その後、というかそのままの流れでジュニアを卒業して、プロの世界に行くわけですけれど、今 2022 年の現在でも、当時私がジュニアで共にプレイしていた選手で辞めずに続けている方々は、国内外問わず、ほぼ全員が一線級の選手であることは間違いないと思います。
当時と同じように今でも、彼らと一緒にビリヤードがしたいということがモチベーションになっています。

★同じ道を志すジュニア世代に

人それぞれにビリヤードの目標や向き合い方は違うと思いますが、当大会にご参加される皆様は少なくともビリヤードのことが大好きだし楽しいと思っている筈です。
そんなビリヤードの楽しみ方の一つとして、真剣に勝ちにこだわり「絶対に負けたくない!」という強い気持ちを持って、最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思っています。勝って嬉しいのも、負けて悔しいのも、ビリヤードの楽しみ方の一つだと思います。
結果はどうあれ、同世代のプレイヤー達とこのような時間を共有出来ることが、これからのビリヤードライフにとって、本当に貴重な経験となり、大切な思い出にもなることは間違いないので、精一杯に楽しんでいただきたいと思います。

★今後の自身の抱負は

誰よりもビリヤードを愛している人でありたいと思います!また、その経験や知識を広く皆様と共有し続けられる一線級のビリヤードオタク(笑)として、これからも頑張りたいと思います。

飯間智也